

2012年8月19日・福井新聞では

越前海岸の暮らし詠む

越前町浜本さん 初の詩集に37編

越前町の詩人浜本はつえさん（63）がこのほど、初詩集「斜面に咲く花」を刊行した。越前海岸沿いで暮らしぶりなどを題材にした37編を収録している。

詩集は、海沿いの町で暮らす日々を詠んだ「わたしの越前」、自らの心情を題材にした「夜の歌」、現在の生活をテーマにした「踊りの時間」の3章構成。表題作の「斜面に咲く花」は、急斜面の畑を耕しながら豊漁の漁船を待っていた過去と、活気がなくなった現在の港の様子を対比させ、水仙だけが毎年変わらず咲いている情景を描写し、変わりゆく地元の生活や環境を詠んでいる。

浜本さんは県詩人懇話会会員、福井詩人会議「水脈」会員。「弱い人間の気持ちを分かりたいとの思いで詩を書いている」と話している。

と紹介されています。